

令和5年度 学校評価アンケート結果【二戸分教室】

* 学校評価の分析に当たっては、評価が高かった項目（肯定的評価が90%以上）、評価が低かった項目（肯定的評価が80%以下）と捉えて進めた。また「A：よく出来ている」の割合を前年度と比較した。

1 目的

地域に開かれた特色ある学校作りを推進するため、二戸分教室の教育活動に対する率直な意見を伺い、今後の分教室運営に生かす。

2 実施期間および実施対象

- (1) 対象 中学部生徒、高等部生徒、保護者および教職員
- (2) 期間 令和5年11月17日～令和5年11月27日
- (3) 回答率 中学部生徒 100%(12/12)
高等部生徒 83%(20/24)
保護者 100%(42/42 世帯＝小 9/12 中 10/12 高 23/24)
※きょうだいがある世帯は最上位学部にて回答
教職員 94%(30/31) ※育児休業2名を除く

3 保護者アンケート

【保護者の満足度】

- 「A：満足」「B：どちらかという満足」・・・・・・・・・・83.3% (R4 89.4%)
- 「C：どちらかという満足していない」「D：満足していない」・・・16.7% (R4 10.6%)

【児童生徒の主体性を重視】

「児童生徒の実態に応じた教育活動」については、Aの回答が昨年度より上がった。個別の指導計画等の内容や、それらに則った具体的な教育活動、そして教職員による普段の丁寧な対応が評価された。

【児童生徒の社会的自立に向けた指導支援を重視】

全ての設問でAの数値が下がった。特に「交流学习」に係る設問の数値が下がった。コロナが5類に移行したため、積極的な交流および共同学習が期待されていると思われる。

【特別支援学校としての役割を重視】

「校報・ホームページへの関心」が低くなっている。例えば、学校報や学部通信をホームページに掲載し、そのことを一斉メールにてお知らせすれば、保護者の皆様もホームページを閲覧する必然性が生じるとともに、印刷する必要性がないのでペーパーレスという経費節減にもつながる。また、昨今の情報化社会を鑑みインスタグラム等のSNSの活用等も検討し、本校の取組を効果的に発信できる手段を模索していきたい。

【復興教育と安全・安心な教育環境を重視】

全ての設問でAの数値が下がった。設問10「自然災害・火災等に対応した安全教育」の評価も下がったが、その取組自体は実施していても、情報が発信されていなかった事により保護者に認知されなかったと思われる。前項同様、情報発信のあり方を検討していきたい。

【PTA活動の充実・活性化を重視】

Aの数値が11%下がったが、AとBを合わせると昨年度よりも満足度は上がった。今年度、全体レクや学部毎のレク、研修旅行など、概ね例年通りの活動が実施できたので、高い評価へとつながったと思われる。